

「子育てを支援する」



保育教諭 徳毛 万里子

今回は「子育てを支援する」というテーマでお話させていただきます。

「子育てを支援する」とは、保護者の子育てに関する悩みに対して話を聞いたり援助したりすること・必要な情報を提供すること・保護者同士の架け橋となることなど、保護者と関わる中で子どもの健やかな成長を促していけるようにすることが大切であると考え、日々子育て支援や保護者対応を行っています。

支援をするためには保護者との関係作りが大切になります。私が保護者と関わる中で心がけていることが3つあります。

まず一つ目は、積極的に話しかけることです。私は人見知りであり、初対面では話をするのが苦手です。ですが、会った時には笑顔で挨拶したり、私が関わった中でのエピソードを伝えたり、コミュニケーションを図るようにしています。また、子育てに関係ない事柄も話をすることもあります。何気ない話をする時の保護者の表情は柔らかいことが多く、そこから話が弾むことがあります。心を少しでも開いてくださることで関係が少しずつ作れ、悩みなどいろいろな話をしてくださるようになります。

子育て支援『ひまわりっこ』では継続して参加して下さる方もいますが、初めての参加やあまり会えない方とは話をすることをためらうこともあります。ですが、今年度いろいろな方と話をするようになったことで自分自身、人との関わりで成長するきっかけとなったなと感じます。

二つ目は、保護者の悩みに対しては、まずしっかりと話を聞くようにしていること・改善へのきっかけ作りが心がけています。保護者の中には話を聞くことでスッキリされる方もいますし、話をすることで自分の中で整理ができ解決へと導く方もいます。また、発達段階や関わり方など分からないことに対しては丁寧に伝えるようにし、悩みに対しては話をすることで保護者自身で改善案を見つけていけるよういろいろな提案をするようにしています。決めつけてしまうと無理強いしてしまう部分も出て負担となりますが、保護者自身ができるようなことを見つけることで取り組みやすくなるからです。時に一方的に話をしてしまい反省することもあります。話をするときにはしっかりと心にとめていきたいと思います。

最後に、子育て支援『ひまわりっこ』では、保護者の悩みを聞いて話をするだけではなく、家庭でも取り入れられる遊び(例えばクッキングや手作り玩具)や家庭ではなかなか行えない遊び(例えばママごとなど友だちとのやりとりやリトミック)を提供するようにしています。子どもの興味関心を広げるとともに今、何に関心を持っているかを知るきっかけとなればと思っています。

以前パズルをしていた時、家庭ではパズルをしたことがないけどひまわりっこでは形を認識しながら遊んでおり“出来る”ことに気付くきっかけとなった方もいました。また、手作り玩具や指先遊びで用意をしていた物を見て、100円ショップで手に入るもので作っていることから“家庭でも作ってみた”“同じように買って遊んでみた”と家庭での遊びのヒントとなった方もいました。

子育てを支援する方法はいろいろあります。ひまわりっこや登園降園時に保護者と関わる中で私ができる支援を見つけ、保護者にとってリフレッシュの場・気分転換・発見・学びなど、少しでも力添え出来たらと思います。そのために提供できる情報・知識を増やしていき、今後の子育て支援に役立っていきたくです。

(2019年1月)

